

綾部市住宅耐震化緊急促進アクションプログラム

1 目標

綾部市建築物耐震改修促進計画に定めた目標の達成に向け、住宅所有者の経済的負担の軽減を図るとともに、住宅所有者に対する直接的な耐震化促進、耐震診断実施者に対する耐震化促進、改修事業者の技術力向上、住民への周知・普及等の充実を図ることが重要である。

このため、綾部市住宅耐震化緊急促進アクションプログラム（以下「アクションプログラム」という。）では、毎年度、住宅耐震化に係る取組を位置付け、その進捗状況を把握・評価するとともに、プログラムの充実・改善を図り、住宅の耐震化を強力に推進することを目的とする。

2 位置付け

アクションプログラムは、京都府住宅・建築物安全ストック形成等整備計画（防災・安全）（第3期計画）に基づき策定する。

3 取組内容・目標・実績

	令和6年度取組内容	令和6年度目標
計画	【財政的支援】 1) 木造住宅の耐震診断費に対する補助を実施 2) 住宅の耐震改修費・設計費に対する一部補助を実施	木造住宅に対する耐震化補助 ・耐震診断費補助戸数：50戸 ・耐震改修工事費補助戸数： 本格改修8戸、簡易改修6戸
	【普及啓発等】 1) 住宅所有者に対する直接的な耐震化促進 ・固定資産税・都市計画税課税明細書送付時にDMを同封 ・市のデジタルサイネージ等を利用し事業のPRを行う。 2) 耐震診断実施者に対する耐震化促進 ・耐震診断結果報告時にリーフレットの配布・説明等により耐震改修を促進 ・耐震診断後一定期間経過しても耐震改修を行っていない方に対して電話等による耐震改修促進を実施 3) 改修事業者の技術力向上等 ・府が実施する改修事業者の技術力の向上に係る取り組みと連携し推進を図る。 ・府で作成した耐震改修事業者リストをリンクし公表する。 4) 住民への周知普及 ・耐震改修の必要性の周知を実施 ・住民を対象にした各種説明会・セミナー等で制度概要等の周知を実施 ・リーフレット及び広報誌により制度概要等の周知を実施	前年度までの実績 木造住宅に対する耐震化補助 令和5年度 ・耐震診断費補助戸数：13戸 ・耐震改修工事費補助戸数： 本格改修5戸、簡易改修3戸 令和4年度 ・耐震診断費補助戸数：16戸 ・耐震改修工事費補助戸数： 本格改修6戸、簡易改修4戸 令和3年度 ・耐震診断費補助戸数：19戸 ・耐震改修工事費補助戸数： 本格改修8戸、簡易改修6戸
自己評価	前年度（令和5年）の取組実績 ・広報誌での事業案内や市ホームページへの掲載などで補助事業の制度の周知を図った。	前年度（令和5年度）の課題 ・診断士派遣及び改修補助の執行が減少したことからより一層の啓発活動が必要。
		改善策 ・住民への周知・普及等の充実を図るため、関係団体等と連携した啓発を行うなど、引き続き各種補助制度を積極的にPRする。